

ラビ・メンディ・スダケヴィッチ氏からのメッセージ

シャローム！

樋口季一郎中将の讃えるために今日ここに集まれた皆様。

ヘブライ語で「感謝」のことを「ハカラス・ハトヴ」といいます。

この言葉はしばしば「感謝」と訳されますが、じつは、まったく正確というわけではありません。「ハカラス・ハトヴ」は「良きことを認めること」、つまり「だれから私に恩恵を与えたことを認める」ことなのです。

問題は、多くの場合、良きことを選んだ人たちが陰に隠れていて、彼らが私たちに与えてくれた恩恵を覚ることがないことにあります。特に、生き残ることに必死な時はなおさらです。

私たちユダヤ人が、子供たちに小さい頃から最初に教えることは「ありがとう」と言うことです。私たちは毎朝目が覚めると「モーデー・アニ・レファナカー」と言いますが、それは「神様、あなたが私に与えられた生命（いのち）に感謝します」という意味なのです。

「ハカラス・ハトヴ」、つまり誰かが私たちにしてくださった良きことを認めることは、3000年を超えるユダヤの伝統に根ざしており、私たちは常に良きことをしてくださった方々を思い、感謝するのです。

樋口季一郎中将に対して、ユダヤ人の名において「ハラカス・ハトヴ」を述べさせていただくことができるのは、私の喜びであり名誉であります。樋口中将は、ユダヤ民族が最大の困難に見舞われた時代に、それ以外の道に目をくれることもせず、正しいことをされたのです。そのことが必要だと、彼が感じ、理解したというそれだけの理由で、行われたのです。なんと勇敢で、特別の人物だったことでしょう！

私たちも皆、樋口将軍に深く想いをいたし、今日においても彼のように行動するべきなのです。たとえ認められることがなくても、他人を守るべきなのです。これは正しいことだという、それだけの理由で。

ラビ・メンディ・スダケヴィッ

チ